

授業科目	英語学概論Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21206J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP5-1			
担当教員	大谷 浩							
授業概要	<p>前期の概論Ⅰの講義内容を理解していることが前提となる。  「統語論」「意味論」「社会言語学」が主な講義内容である。  授業は、なるべく身近な例を紹介しつつ進めていくが、概論Ⅰと同じく、言語学という学問・研究領域への入門講座であり、英語運用能力を高める授業ではない。  全て遠隔授業で実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>毎回の授業に遅刻欠席なく出席し、集中して講義を聴くことができる。  講義内容を自分の言葉でノートに残すことができる。  毎回の授業で、質量ともに十分なリアクションペーパーを提出することができる。  授業内容を十分理解した上で、質量ともに十分なレポートを提出することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			25		15		40	
知識・理解 (DP1-2)		0	5		5		10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			15		20	0	35	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10		5		15	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
統語論、意味論、社会言語学に関して十分理解をし、その分野に対して更に研鑽を積む意欲を持つに至るレベル。				統語論、意味論、社会言語学について具体例を挙げながら、他者に大まかな説明ができるレベル。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション(Zoom ミーティングを行う。必要な情報は事前に受講学生に大学 G メールで通知する) 統語論(1)			授業方針の説明、 講義		指定された教科書を購入して持参すること。		60

	単語と単語の結びつきのルール			
2	統語論(2) 単語・句・節	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
3	統語論(3) 文の解析と樹形図	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
4	統語論(4) 倒置(疑問文・強調文他)	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
5	統語論(5) 日本語との比較(head-initial / head-final)	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
6	意味論(1) 意味の意味とは何かをめぐって:「指示説」	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
7	意味論(2) 意味の意味とは何かをめぐって:「概念説」	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
8	意味論(3) 意味の意味とは何かをめぐって:「構造意味論」	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
9	意味論について(4) 「指示説」と「概念説」の比較	小テスト、講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
10	意味論について(5) 「指示説」と「概念説」の共通点と、その2つの説と「構造主義」との切り口の違い	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
11	社会言語学 地域方言について	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
12	社会言語学 社会方言について	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
13	社会言語学 地域方言と社会方言を通じて、言語が果たす意思疎通の役割や、アイデンティティの源としての言葉の役割について考察	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
14	英語の第一言語とする国々における言語政策 第2言語習得の研究内容概観	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英語学概論 I の講義内容についてのしっかりした理解 学問・研究に対する興味、関心 基本的英語力、特に文法・読解力			
テキスト	「はじめての英語学」 研究社 ISBN 978-4-327-40165-8			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	以下、図書館で指定図書として閲覧・貸出可能です： ○ことばと文化：岩波新書（鈴木孝夫） ○本当にわかる言語学：フシギなくらい見えてくる！ ○言語学入門：これから始める人のための入門書 ○明解言語学辞典 ○言語学が好きになる本 ○First steps in English linguistics 2 版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	英語、日本語を問わず、言葉に関心を持ってください。 テレビで使われる言葉、街中に溢れる文字、自分と異なる年齢層が使う言葉、聞いたり見たりして惹かれる言葉、不愉快になる言葉、文字の成り立ち、発音などなど、身の回りの言葉について意識を高め、気になったことはすぐに自分なりに調べてみる習慣を付けて下さい。 Zoom ミーティングの際は、ビデオオンで参加すること。			
達成度評価に関するコメント	遅刻2回で欠席1回扱い。 届け出や許可なくビデオオフにしている場合は、レポート外の提出物の配点から減点する。 ノートをしっかり取り、リアクションペーパーはなるべく多く書く。			

